

「春の空」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

次の古文とその意味を読んで、問いに答えましょう。

【古文】

春はあけぼの。①やうやう (ア) 白くなりゆく ②山ぎは、すこし
あかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

【意味】

春は明け方がよい。(イ) 白くなっていく山ぎわの空が、少し
あかるくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがよい。

問1 この古文が書かれているのは、なんという名前の作品ですか。
作品名を漢字で答えましょう。

問2 この作品の作者を漢字で答えましょう。



問3 線①「やうやう」は現代ではどのように書きますか。

問4 線②「山ぎは」は現代ではどのように書きますか。

問5 【意味】の（イ）に当てはまる「やうやう」の意味として正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：だんだん

イ：なんとか

ウ：とうとう

エ：いよいよ

問6 線ア「白くなりゆく」とありますが、何が白くなるのですか。【意味】からぬき出して答えましょう。

問7 「白くなりゆく」とありますが、なぜ白くなるのですか。もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：夜があけて太陽がのぼってきているから

イ：春になって空が明るくなっているから

ウ：雲がたなびいているから

エ：春になって山ぎわに白い花がさきはじめたから



問8 作者は、春の何が良いと言っていますか。【意味】からぬき出して答えましょう。



「春の空」 定期テスト対策練習問題（解答）

問1 枕草子

問2 清少納言

【解説】清少納言は、平安時代の作家。漢字で書くように問題が出る学校も多いので、漢字を練習しておこう。

問3 ようよう

【解説】歴史的かなづかいを現代のかなづかいに直すルールのひとつで、ア段の文字と「う」がくっついている時は、ア段をオ段に変えて、「う」をくっつける。

問4 山ぎわ

【解説】歴史的仮名遣いを現代の仮名遣いに直すルールのひとつで、言葉の頭につく以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、「わ・い・う・え・お」に直す。

問5 ア

【解説】「やうやう」は、だんだんと、次第に、すこしづつという意味。



問6 山ぎわの空

問7 ア

【解説】「春はあけぼの」とあるように、この作品では春の夜明けのことをテーマにしている。そのため、朝日がのぼってきているため、空が明るくなり白くなっていつている。

問8 明け方

【解説】「春はあけぼの」とは、「春はあけぼの（がよい）」という意味。作者は、春は明け方が良いと言っている。

